

最近の火災状況について

1 火災発生件数等

(前年同日対比)
令和元年11月14日現在

区分		平成31年(令和元年) (A)	平成30年 (B)	増減(C) (A)-(B)
火災 件 数	計	36 件	29 件	7 件
	建物	27 件	22 件	5 件
	車両	4 件	2 件	2 件
	林野	0 件	0 件	±0 件
	船舶	0 件	0 件	±0 件
	航空機	0 件	0 件	±0 件
	その他	5 件	5 件	±0 件
死傷者	死者	9 人	1 人	8 人
	負傷者	6 人	3 人	3 人

※ 昨年同対比で、火災が7件、死者が8人増加している。死者の人数は、火災報告取扱要領が全部改正された平成7年以降の統計において、平成9年の11人に次ぐ2番目に多い死者数となっている。

2 出火原因(平成30年)

1	たばこ	5件
2	電灯・電話等の配線	4件
2	放火	4件
4	こんろ	2件
4	ストーブ	2件
4	配線器具	2件
4	マッチ・ライター	2件

1	たばこ	3,414件
2	たき火	3,095件
3	こんろ	2,852件
4	放火	2,784件
5	放火の疑い	1,977件

※ 「たばこ」は、小樽市内、全国共に昨年の出火原因の第1位となっており、市内の過去5年の火災を見ても第1位である。他にも「ストーブ」、「電灯・電話等の配線」、「こんろ」、「放火」による火災が毎年発生している。

3 住宅用火災警報器

	設置率
全国	82%
北海道	82%
小樽市	71%

※ 参考 火災となった住宅の住宅用火災警報器設置状況

区分		平成29年	平成30年	平成31年(令和元年)
住宅火災		8件	12件	11件
住宅用火災警報器	設置済	2件	1件	1件
	未設置	6件	11件	10件

4 今後の対策

- (1) 11月13日から消防車両による巡回広報を実施している。
- (2) 火災による死者9名中5名が高齢者であることから、高齢者世帯を含む災害弱者への防火訪問を実施する。
- (3) 各町内会に出向き、火災発生状況及び住宅用火災警報器の設置について協力をお願いしたい。